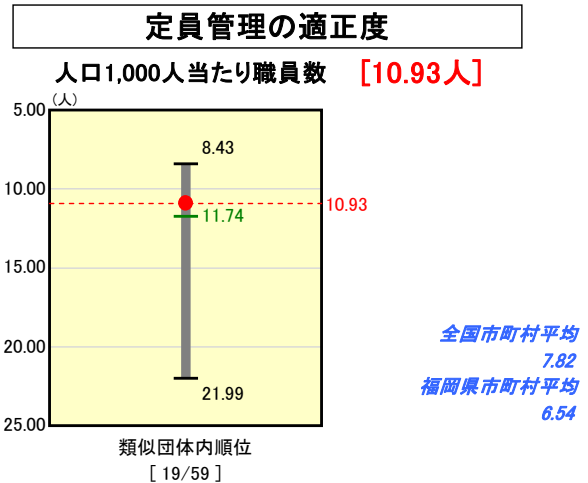
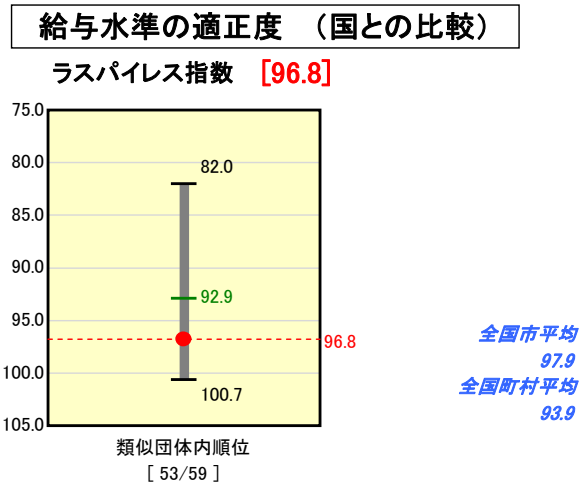
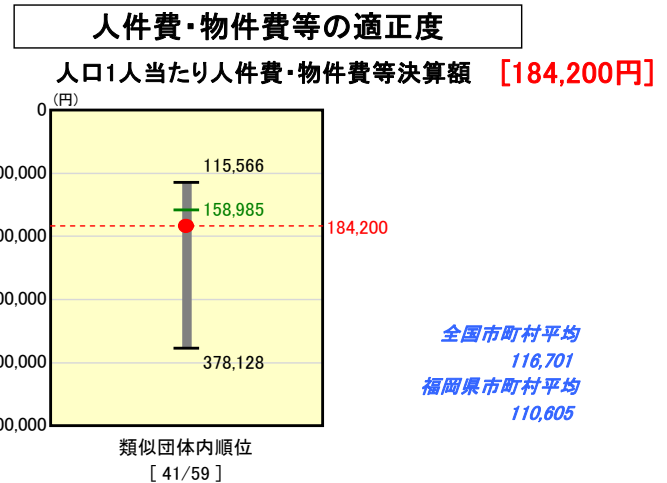
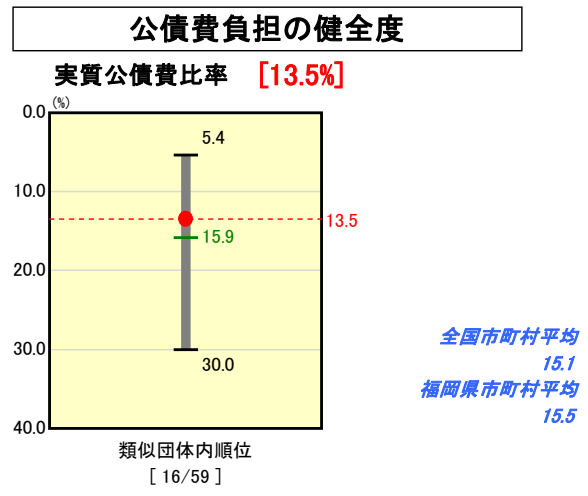
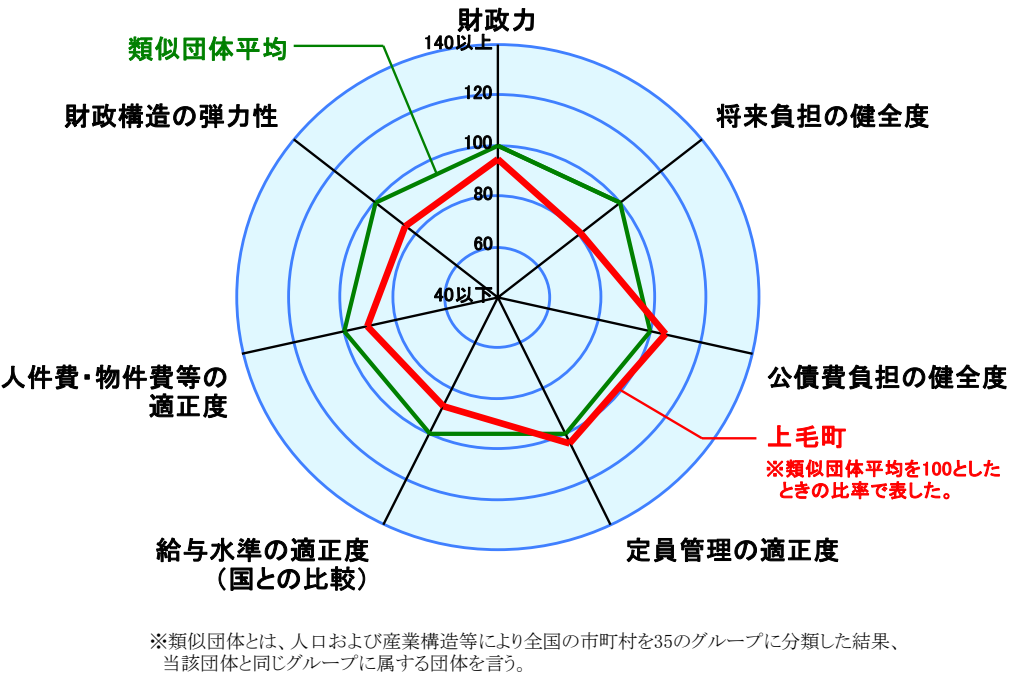
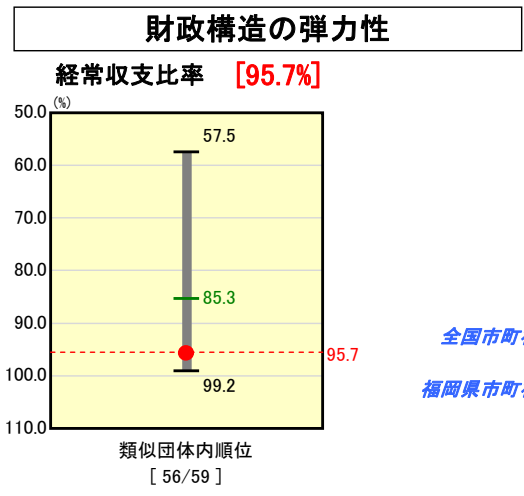
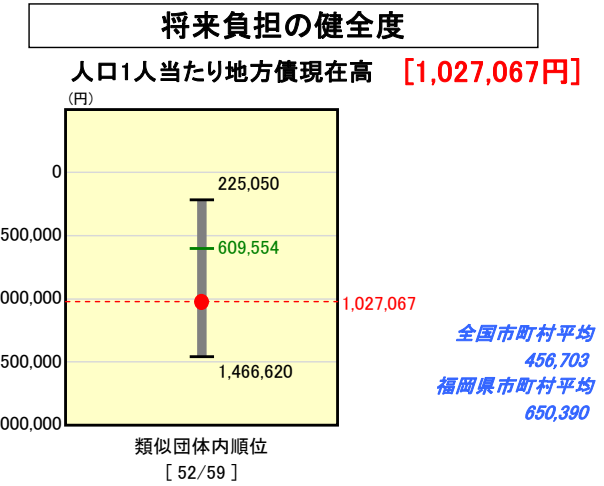
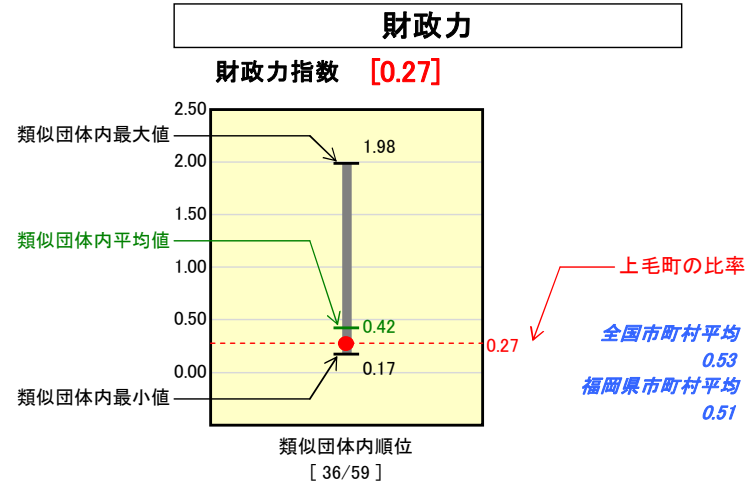


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

福岡県 上毛町

人口	8,419人	(H19.3.31現在)
面積	62.40	km ²
歳入総額	6,643,574	千円
歳出総額	6,473,146	千円
実質収支	161,050	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

- 財政力指数
上毛町集中改革プランにより、行財政改革を推進し、今後は、企業誘致等により自主財源の確保に努め、財政力の強化を図る。
- 経常収支比率
経常経費の削減により前年度と比較して2.7ポイント低下し95.7%となっている。しかし、類似団体平均との比較では10.4ポイント高くなっている。主な要因は、人件費及び公債費等の義務的経費の割合が高いためである。今後は、定員適正化計画により人件費の削減に努めると共に、地方債の発行を抑制し公債費の削減に努め経常経費の削減を図る。
- 人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均と比較して高額となっている主な要因は、文化財発掘調査員賃金並びに合併後の公共ネットワークの構築委託費による物件費の増である。今後は、このような臨時的な増額要因はなくなるが、上毛町集中改革プランにより人件費を含めた経常経費の見直しを行い、財政健全化に向けた取組を行っていく。
- ラスパイルズ指数
小規模な団体ほど職員構成の偏在等により、一概に給与水準を比較できないが、全体的には適正化は進展している。今後は、定員適正化計画で定めている職員の削減目標の達成に努め、更なる適正化に向けて一層の努力をする。
- 人口1人当たり地方債現在高
類似団体の平均を大きく上回っている要因は、平成10年から平成14年にかけて実施した大規模事業(温泉館整備事業等)及び過疎債・辺地債の借入れによるものである。今後は、中長期の財政見通しに基づき、地方債発行を抑制することにより、地方債現在高及び公債費の縮減に努め、財政負担の軽減を図る。
- 実質公債費比率
現時点では、類似団体平均を下回っている。しかし、今後5年間の地方債償還額から推測すると平成22年度をピークに上昇する。今後の地方債の発行については、将来の財政負担の抑制に努め、財政の健全化を図る。
- 人口1,000人当たり職員数
類似団体の平均を下回っているが、財政事情を勘案すると更なる定員削減を推し進める必要がある。今後は、住民サービスを低下させることなく、定員適正化計画に基づき平成22年4月1日までに集中改革プランに掲げる純減率(対平成18年4月1日現在:103人)△8.7%の数値目標達成に努める。